

九州朝日放送番組審議会議事概要（9月分）

第576回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成27年9月8日（火） 午後4時～5時30分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 7名 欠席委員数 1名</p> <p>（出席委員） 光富彰委員長、宇加治恭子副委員長 松村茂雄委員、宇佐見昇委員 藤田ひろみ委員、宮田克彦委員 三好京子委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 武内健二 常務取締役編成制作局長 半田俊彦 取締役ラジオ局長 清水透 報道局長 佐伯拓史 報道局次長兼報道部長 松延健次 テレビ制作部長 大保一 視聴者・広報室長兼番組審事務局長 久芳康治 事務局員 都合信司、松田泰久</p>
議 題	<p>ディスカッション 「地域のためにテレビができること～信頼される局であるために～」 （「第84回系列24局放送番組審議会委員代表者会議」議題）</p> <p>1. 平成27年9・10月ラジオ・テレビ番組編成状況 2. 平成27年7・8月視聴者・聴取者応答状況等の報告</p>
議事の概要	<p>◎委員の意見の概要</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域のために」という哲学がはっきりしており、かつ、あらゆる番組にその哲学が一貫して流れていることが、信頼される局になるためには必要。 ○「地域のためにテレビができること」というのは、「地域を元気にするために何をすればいいのか」と読み替えるのが良い。「信頼される局であるために」も同じ。 ○ローカル局の特色を出し続けて行くために高い自社制作率を維持してほしい。 ○地域に優しく、元気を与える機関車であるべき。そのためには局が元気であるべき。 ○地域の情報がグルメ、ファッション、旅などに偏っているので文化、歴史、人物などにも十分に光をあてて取り組んで欲しい。局の方には十分勉強して欲しい。 ○地元愛を強める番組を制作することが地域局の重要な役割。 ○地域への新しい流入者をいかに捉えていくかは重要である。 ○テレビは生活に必要なものと考えますが、ニュースや天気予報を除けば、今後はネットフリックスなどが提供するコンテンツに流れて行くのではないかと。 ○キー局に依存しないためにも今後は有料放送も含め、新しいビジネスモデルへの転換も必要ではないかと。 ○KBCには東南アジア、韓国、中国への情報発信と交流の役割を果たして欲しい。 ○地元女性の働き方や子供の貧困の問題などを取り上げてほしい。 ○放送を通じて、地域の独居高齢者の見守りに資する役割を認識して欲しい。 ○地域の活性化のためには地域のプラス情報を繰り返し発信することにより、若い人が地域に誇りを持ち、好きになることが重要で、テレビはその役割を担っていると思う。 ○特に地方ローカル局では若い人、後継者の育成が重要だ。 ○地域の災害情報はきめ細かく伝えることで二次災害を防止できる。 ○信頼性については、映像の力は確かだが、心の深部に届く言葉の力も大事にして欲しい。 ○報道番組は何よりも信頼性が大事なので、報道被害が起こらない、責任あるニュースを伝えて欲しい。 ○ドキュメンタリー番組は深夜ではなく、より多くの視聴者のために視聴しやすい時間に放送してほしい。 ○地元局が今後のネット社会においても一定の役割を発揮するのは間違いないと思う。 <p style="text-align: right;">などの意見を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地域のためにテレビができること～信頼される局であるために～」は、「地域のためのテレビ局として生き残るためには」と同じ意味だと考えている。 ○取材、制作の現場では対象者との信頼関係が基本であり、今後も十分念頭に置き信頼に値する内容を発信して行きたい。 ○委員の方々から寄せられた、地元愛、身近、親しみ、共感、頼りになるなどの言葉は地方局のニュースを伝える者として一番心がけている点である。 ○福岡でしかできないニュース、例えば子供の貧困だとか過疎の問題などは全国的な問題だがしっかり地元福岡での身近なところに落としこんで伝える事を普段から心がけており、今後も続けていきたい。 ○頼りになるという面では、細かなローカルでの災害報道により減災に取り組んでいる。 ○ニュースの中で誤報や誤認を与えた場合には、できるだけ早く訂正を伝えることが局への信頼につながるものと考えている。 ○地域密着のため、今後さらに自社制作率を高めていきたい。 ○インターネットについては、地域の情報を基に自社で制作したものを全国あるいは世界へ打って出るための一つのビジネスチャンスとしてとらえている。 ○媒体力と告知力を活かして地域に資する局としてチャレンジしていきたい。 <p style="text-align: right;">などを発言しました。</p>